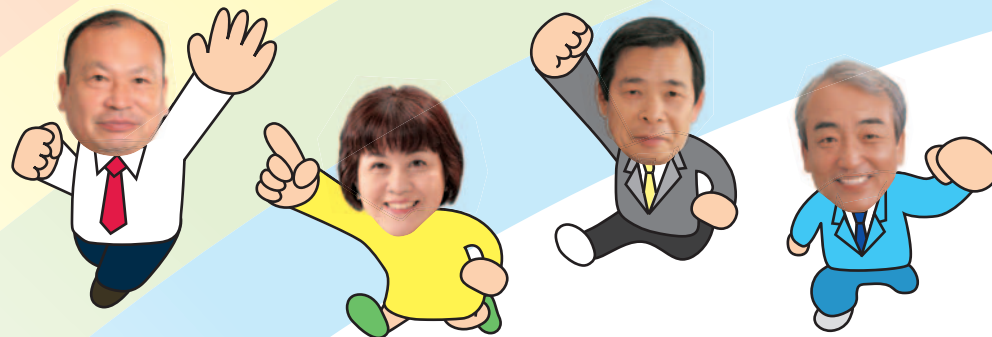


日本共産党議員団 市民要望実現 議会改革リード

この
4年間も

日本共産党議員団は、「自治体は市民のくらしを守り、改善させることが使命」という一貫した立場で議会改革でも積極的に提案し、議会ごとに一般質問、議案・請願の審査を行い、日々奮闘しています。



7月からこどもの医療費 3歳未満児まで無料に

実現
しました

他市と比べて極端に遅れているこどもの医療費無料化。この4年間で請願を6回も提出。一貫して賛成・実施を求めているのは日本共産党議員団だけ。いのちに格差をつけない・安心の子育てを応援する立場で「中学校卒業までの医療費無料化」を求め、国・県にも要求しています。

他会派は…

「市財政が厳しい」「無料にするとコンビニ受診が増える」「趣旨はわかるが」と反対。粘り強い市民要求の中で、昨年末、賛成多数で請願採択。一步前進しました。

「高齢者入浴サービス」 中止を撤回

実現
しました

市の行財政改革で「入浴サービス廃止」案が浮上。日本共産党議員団は、高齢化、ひとり暮らしが進む中、高齢者の交流、健康保持・介護予防につながっていると継続にむけて全力。請願は、賛成多数で採択され今年度は継続になっています。

反対した議員は…

年間、6万人の利用、1700万円の予算に対し、「市は、財政難だから」「介護保険の入浴サービスがある」「一部の人しか利用していない」と発言。

政務調査費 領収書添付、公開へ

実現
しました

日本共産党議員団は、4年前、「議員報酬削減案」を提案（保守・公明党議員の反対多数で否決）。

「議会広報」の改善や政務調査費の1円からの領収書添付、情報公開を求めてきました。昨年度から情報公開実現、今年度から政務調査費の収支報告書がホームページ上でも見られるようになりました。

高齢者交通費 助成を復活

実現
しました

財政難を理由に廃止になった「交通費助成」。復活を求める請願の採択に日本共産党議員団は奮闘。高齢者の実状に応じてラガールカード購入やタクシーチケット配布などで再開しました。

ヒブ(細菌性髄膜炎)予防ワクチン 公費助成 今年度からスタート

実現
しました

昨年6月議会、市民から「ヒブワクチン定期接種化を求める国への意見書提出」を求める請願が提出され、日本共産党議員団は紹介議員になり奮闘。9月議会、全員一致で国に意見書提出。

「市としてワクチン接種への独自補助を求める」請願が12月議会に提出され、賛成少数でしたが、今年度、半額補助がスタート(川西・県)しました。



木曜日の夕方、「議会報告」を配布し、報告をする日本共産党議員団

市民と共に

「住民が主人公」の政治をめざす日本共産党議員団は、主権者としての市民の声を大切に活動しています。議会報告の宣伝や懇談会を行い、兵庫県や国に対する要求活動なども全力で行っています。

2010年6月議会の結果

議案

- 「参画と協働のまちづくり推進条例」制定について …… 全員賛成

| | 反対 | 賛成 |
|------------------------------|--------------------------------------|---|
| ● 平成22年度川西市国民健康保険事業特別会計第1回補正 | 大塚 土谷 住田 黒田 小山 越田 津田 土田 多久和 前田 | 中礼 倉谷 上馬 宮路 松田 久保 西山 吉田 吉富 梶田 安田末 岩田 江見 平岡 大矢根 小西 宮坂 北上 |

意見書提出を求める請願

- 小・中学校における30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書
 - 介護保険制度の充実を求める意見書
 - 子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を求める意見書
- 3件は全員一致で採択、国へ意見書提出

| | 反対 | 賛成 |
|-------------------------------|---|-------------------------------|
| ● 「保育制度改革に関する意見書提出を求める」請願 | 小山 越田 津田 土田 多久和 中礼 倉谷 上馬 宮路 松田 久保 西山 吉田 吉富 梶田 安田末 岩田 江見 平岡 大矢根 前田 | 大塚 土谷 住田 黒田 小西 宮坂 北上 |
| ● 「女性特有の乳がん・子宮がん検診の無料化を求める」請願 | 小山 越田 津田 土田 多久和 中礼 倉谷 上馬 宮路 松田 久保 西山 吉田 吉富 梶田 安田末 岩田 江見 平岡 大矢根 前田 | 大塚 土谷 住田 黒田 小西 宮坂 北上 |

安田忠議員は議長です